

豊後高田「昭和の町」づくり計画 新旧対照表

頁等	旧	新
	計 画 内 容	計 画 内 容
P3	<p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>「昭和の町」における魅力の向上による地域再生</p> <p>昭和の街並み整備の推進 (略)</p>	<p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>「昭和の町」における魅力の向上による地域再生</p> <p>昭和の街並み整備の推進 (略)</p>
12 行 ~	<p>昭和の拠点施設の活用・整備</p> <p>「昭和の町」の中においては、昭和30年代あるいはそれ以前から存在し、地域の繁栄を記憶している、いわば豊後高田史上でランドマークやシンボルと言うべき建築物やその跡地が現在も数多く残っている。「昭和の町」における魅力の向上と街並みの連続性・回遊性を持たせることにより、観光客の満足度と滞在時間の増大を図るため、こうした建築物について集客施設や交流施設としての整備・活用を検討する。</p> <p><u>現在、こうした建築物の内、商店街に隣接した広大な農業倉庫の一部を「昭和ロマン蔵」として整備し、「駄菓子屋の夢博物館」や「昭和の絵本美術館」など「昭和の町」における集客拠点施設として活用しているところである。</u></p> <p>今後、この農業倉庫の未整備部分の北蔵及び南蔵についても、例えば「昭和レストラン」</p>	<p>昭和の拠点施設の活用・整備</p> <p>「昭和の町」の中においては、昭和30年代あるいはそれ以前から存在し、地域の繁栄を記憶している、いわば豊後高田史上でランドマークやシンボルと言うべき建築物やその跡地が現在も数多く残っている。「昭和の町」における魅力の向上と街並みの連続性・回遊性を持たせることにより、観光客の満足度と滞在時間の増大を図るため、こうした建築物について集客施設や交流施設としての整備・活用を検討する。</p> <p><u>こうした建築物の内、商店街に隣接した広大な農業倉庫の一部を「昭和ロマン蔵」として整備を行っており、現在、東蔵を「駄菓子屋の夢博物館」や「昭和の絵本美術館」など「昭和の町」における集客拠点施設として活用しているところである。</u></p> <p><u>一方、現在、整備を行っている南蔵については、平成18年度からは「くにさき半島の食材」を活用する飲食施設としてオープンし、「昭和の町」に新たな魅力を提供する施設として活用を図っていく。この施設は単に「昭和の町」だけでなく、地域全体の食材を開発・発信することで、本市における「食」情報の発信の場として機能させることも計画している。</u></p> <p>今後、この農業倉庫の未整備部分の北蔵について、例えば昔ながらのハゼを使った和</p>

や昔ながらのハゼを使った和蠟の製造体験工房などの活用を検討し、ソフト面の充実により魅力の向上を図り、集客や情報発信機能を持った施設整備・活用を推進していく。

さらに、「昭和の町」の中にある豊後高田の歴史を物語っている銀行跡地や地元金融機関の建物についても整備・活用を図っていく。

また、この他のシンボリックな建築物等については、その所有が民間所有であるものが多いことから、その整備手法については民間による事業実施も視野に入れながら整備・活用の検討を行う。

宿泊客の確保

本市の近隣には、別府市や湯布院町などの有名な観光地があることから、本市を訪れる観光客のそのほとんどが通過型の観光客であり、そのため観光客一人当たりの消費額は約1600円と、県平均額からみても4分の1程度しかない。

「昭和の町」づくりによる経済効果をより高めていくためには、「昭和の町」の中での観光客等の滞在時間を増加させる必要がある。

今後、「昭和の町」の中に泊まってゆっくり楽しむことができるように、古い商家や旧家など歴史のある建築物を活用した商家民泊や体験型宿泊等の推進を図る。

河川環境を活かしたまちづくり

(略)

「昭和の町」における周辺環境整備

(略)

蠟の製造体験工房や昭和の暮らし体験館など、体験型もしくは販売拠点として活用を検討するなど、ソフト面の充実により魅力の向上を図り、集客や情報発信機能を持った施設整備・活用を推進していく。

さらに、「昭和の町」の中にある豊後高田の歴史を物語っている銀行跡地や地元金融機関の建物についても整備・活用を図っていく。

また、この他のシンボリックな建築物等については、その所有が民間所有であるものが多いことから、その整備手法については民間手法で経営する「豊後高田市観光まちづくり株式会社」による事業実施も視野に入れながら整備・活用の検討を行う。

宿泊客の確保

本市の近隣には、別府市や湯布院町などの有名な観光地があることから、本市を訪れる観光客のそのほとんどが通過型の観光客であり、そのため観光客一人当たりの消費額は約1600円と、県平均額からみても4分の1程度しかない。

「昭和の町」づくりによる経済効果をより高めていくためには、「昭和の町」の中での観光客等の滞在時間を増加させる必要がある。

今後、「昭和の町」の中に泊まってゆっくり楽しむことができるように、古い商家や旧家など歴史のある建築物を活用した商家民泊や体験型宿泊等の推進を図る。

さらに、「スパランド真玉」や「ヴィラフロレスタ」など公的な宿泊施設、あるいは、ホテル、旅館、民宿等民間宿泊施設の活用により、市内周遊観光についても推進を図っていく。

河川環境を活かしたまちづくり

(略)

「昭和の町」における周辺環境整備

(略)

P3

29 行

~

P4
23 行
~

「昭和の町」における管理・運営体及びひとづくり

「昭和の町」のコンセプトは昭和30年代をテーマとしており、来訪者にまちづくりのコンセプトが正しく伝わるためには、これまで主として商工会議所や市が担ってきた「昭和の町」全体における管理・運営機能を、商業者自らが主体となった自主運営を行い、民間的視点に立ちながらお互いの品質向上を行い、それぞれの取り組みを調整・決定していく体制・組織づくりを行うとともに、その組織運営に係る資金やマネジメント能力やノウハウなどを持った人材の確保・育成が必要となっている。

今後、「昭和の町」における管理・運営組織として、収益事業とまちづくり事業を行う「まちづくり会社」やTMOなどの管理・運営体の組織化を推進するとともに、各分野で「昭和の町」づくりのコンセプトにあった人材の育成、確保に努める。

また、商店街における後継者や経営者の育成など、「昭和の町」を担うひとづくりの推進を図る。

P4
35 行
~

「昭和の町」づくりに伴う地域雇用の創出

「昭和の町」づくりによる中心市街地の活性化に伴う観光客や地元客の増加に対応するため、「昭和の町」の管理・運営の核となる組織づくりや各種人材の確保・育成、あるいは新規事業の実施や空き店舗の解消等の取り組みなどによる地域雇用機会の拡大を図る。さ

「昭和の町」における管理・運営体及びひとづくり

「昭和の町」のコンセプトは昭和30年代をテーマとしており、来訪者にまちづくりのコンセプトが正しく伝わるためには、これまで主として商工会議所や市が担ってきた「昭和の町」全体における管理・運営機能を、商業者自らが主体となった自主運営を行い、民間的視点に立ちながらお互いの品質向上を行い、それぞれの取り組みを調整・決定していく体制・組織づくりを行うとともに、その組織運営に係る資金やマネジメント能力やノウハウなどを持った人材の確保・育成が必要となっている。

こうしたことから、平成17年11月11日に「昭和の町」の管理・運営の受皿組織としての役割を果たす「豊後高田市観光まちづくり株式会社」を市と商工会議所が出資して設立したところであり、今後、金融機関や民間企業等の出資も募っていく予定である。

このまちづくり会社の基本的な経営については、民間的な手法による昭和口マン蔵の運営や南蔵飲食施設の経営などから収益を上げ、その収益を観光施設の整備等に投資を行うなど、継続的かつ効率的なまちづくりに取り組むこととしており、「昭和の町」に限らず本市全体の観光振興をめざしたものである。

こうしたまちづくり会社の活動も活かしながら、今後とも商店街における後継者や地域における経営者の育成など「昭和の町」や「地域づくり」を担う効果的なひとづくりの推進に取り組んでいく。

「昭和の町」づくりに伴う地域雇用の創出

「昭和の町」づくりによる中心市街地の活性化に伴う観光客や地元客の増加に対応するため、「昭和の町」の管理・運営の核となる組織づくりや各種人材の確保・育成、あるいは新規事業の実施や空き店舗の解消等の取り組みなどによる地域雇用機会の拡大を図る。さ

らに、「昭和の町」の魅力の向上と併せて、この「昭和の町」の奇跡を市内全域に拡げることにより、市内観光事業者や生産者、あるいは地元商業者や地元企業など各産業への活性化をもたらし、「昭和の町」のみならず市全体への経済波及効果により、市内全体としての地域雇用の創出をめざす。

加えて、福岡・北九州などをターゲットとした観光戦略を展開させることにより、管内全体的な経済相乗効果を上げ、さらなる地域雇用の創出につなげていく。

「昭和の町」と周辺既存観光地等との連携による地域再生

地域資源である「山」「里」「街」「海」「温泉」及び「食」との連携
(略)

各種イベントとの連携

本市においては、ホーランエンヤ、修正鬼会、“仏の里・昭和の町”豊後高田五月祭、長崎鼻サマーフェスティバル、観光盆踊り大会、若宮八幡社秋季大祭(裸祭り)など、年間を通して多くの行事・イベントが行われている。また、商店街においても、街並みめぐりやおひなさまめぐり、おかみさん市などの取り組みが行われるなど、商店街の中やその周辺道路等を使用したイベント等が多い。

さらに近年においては、1月のホーランエンヤの行事に併せ、昭和の町でも「宝来祭り」を開催するなどイベントとの連携を図っているが、旧プログラムに基づく道路使用や道路占有許可の円滑化の支援措置により、こうし

らに、「昭和の町」の魅力の向上と併せて、この「昭和の町」の奇跡を市内全域に拡げることにより、市内観光事業者や生産者、あるいは地元商業者や地元企業など各産業への活性化をもたらし、「昭和の町」のみならず市全体への経済波及効果により、市内全体としての地域雇用の創出をめざす。

一方、厚生労働省の「地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)」を活用し、経営や営業等ビジネスの基本的な研修から地域食材の活用など地域固有の研修に至るまでの各種事業を推進することにより、まちづくり会社や空き店舗への新規参入に伴う雇用の創出が期待できるとともに、今後についても、福岡・北九州などをターゲットとした観光戦略を展開させることにより、地域全体的に経済相乗効果を上げ、さらなる地域雇用の創出につなげていく。

「昭和の町」と周辺既存観光地等との連携による地域再生

地域資源である「山」「里」「街」「海」「温泉」及び「食」との連携
(略)

各種イベントとの連携

本市においては、ホーランエンヤ、修正鬼会、“仏の里・昭和の町”豊後高田五月祭、長崎鼻サマーフェスティバル、観光盆踊り大会、若宮八幡社秋季大祭(裸祭り)など、年間を通して多くの行事・イベントが行われている。また、商店街においても、街並みめぐりやおひなさまめぐり、おかみさん市などの取り組みが行われるなど、商店街の中やその周辺道路等を使用したイベント等が多い。

さらに近年においては、1月のホーランエンヤの行事に併せ、昭和の町でも「宝来祭り」を開催するなどイベントとの連携を図っているが、旧プログラムに基づく道路使用や道路占有許可の円滑化の支援措置により、こうし

P5

23行
~

たイベント実施の円滑化をめざすとともに、他の行事・イベントについても連携した施策を検討し、より効果的な相乗効果を図っていく。

たイベント実施の円滑化をめざすとともに、他の行事・イベントについても連携した施策を検討し、より効果的な相乗効果を図っていく。

こうしたことから、本地域再生計画の推進により、「昭和の町」を核とした商業と観光の一体的振興をめざしていくとともに、支援措置として、地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）の活用により、地域産業の振興、並びに雇用の創造、雇用機会の拡大を図り、さらに、日本政策投資銀行による出資や低利融資、あるいはアドバイス等の導入により、本地域再生計画の推進に伴い発生する対象事業者の資金需用等に対応するなど、より効果的かつ効率的な計画の推進を図り、地域の再生・活性化を図っていく。

P6

5 - 3 その他の事業

5 - 3 その他の事業

2行
~

5 - 3 - 1 受けようとする支援措置

5 - 3 - 1 地域再生計画の認定に基づき 受けようとする支援措置

地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）【C0901】

1 地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）【C0901】

(1) 実施主体

昭和の町豊後高田観光再生協議会（平成17年4月1日設立）

(1) 実施主体

昭和の町豊後高田観光再生協議会（平成17年4月1日設立）

(2) 構成団体

豊後高田市、豊後高田商工会議所、豊後高田市商店街連合会、豊後高田市工業連合会、豊後高田市観光協会、くにさき西部農業協同組合、豊後高田市集落営農連絡協議会、豊後高田市シルバー人材センター、日本政策投資銀行大分事務所、(財)日本経済研究所、(株)大銀経済経営研究所、(株)ケイジェイ企画

(2) 構成団体

豊後高田市、豊後高田商工会議所、豊後高田市商店街連合会、豊後高田市工業連合会、豊後高田市観光協会、くにさき西部農業協同組合、豊後高田市集落営農連絡協議会、豊後高田市シルバー人材センター、日本政策投資銀行大分事務所、(財)日本経済研究所、(株)大銀経済経営研究所、(株)ケイジェイ企画

(3) 実施を希望する期間

(3) 実施を希望する期間

平成17年度～平成19年度

(4) 行おうとする主な事業

地域人材育成事業

- ・ 商店主及び観光業者のスキルアップと地域求職者の養成を目的とした研修
- ・ 空き店舗を活用した創業者や就職者の養成を目的とした研修
- ・ レストラン・飲食店等において、即戦力となる技能習得等を目的とした研修

人材の誘致事業

- ・ 「昭和の町」づくりに不足している人材を調査し、各分野にあった優秀な人材を誘致するための求人広告及び面接会の実施

コンサルティング支援事業

- ・ まちづくりの核となる組織づくりを行うため、組織運営やマネージメントなどに精通した専門家をアドバイザーとして招聘
- ・ 人材育成に関する研修システムについて、教育体系の策定などのコンサルティング支援

平成17年度～平成19年度

(4) 行おうとする主な事業

地域人材育成事業

- ・ 商店主及び観光業者のスキルアップと地域求職者の養成を目的とした研修
- ・ 空き店舗を活用した創業者や就職者の養成を目的とした研修
- ・ レストラン・飲食店等において、即戦力となる技能習得等を目的とした研修

人材の誘致事業

- ・ 「昭和の町」づくりに不足している人材を調査し、各分野にあった優秀な人材を誘致するための求人広告及び面接会の実施

コンサルティング支援事業

- ・ まちづくりの核となる組織づくりを行うため、組織運営やマネージメントなどに精通した専門家をアドバイザーとして招聘
- ・ 人材育成に関する研修システムについて、教育体系の策定などのコンサルティング支援

2 日本政策投資銀行の低利融資等【C0701】

(1) 当該支援措置を受けようとする者

計画全体をマネージメントする事業者
(豊後高田市観光まちづくり株式会社)
市内のランドマークとなる建築物の活用等により集客施設・交流施設・宿泊施設等を整備、運営、管理する事業者
計画のコンセプトに基づく投資を実施する観光事業者、交通事業者等

(2) 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

上記の事業者に対して、日本政策投資銀行から金融面での判断を得て同行の融資の利用が可能となった場合に、同行

による事業化アドバイスや同行の出融資を受けて、本地域再生計画に基づく事業の展開を進めることとする。

(合致する日本政策投資銀行の投融資指針に定める事業)

「地域経済振興」のうち

地域再生基本指針に基づく事業

地域産業集積・雇用開発促進事業

「地域社会基盤整備」のうち

地域街づくり・地域社会資本整備事業

「環境配慮型社会形成促進事業」のうち

ストック・ライフサイクル・マネジメント事業

(3) 支援措置が再生の目標に不可欠な理由

本地域再生計画のコンセプトに基づき、

「昭和の町」を核とした商業と観光が一体となったまちづくりを実効的に進めるためには、整備される昭和ロマン蔵をはじめ集客・交流・宿泊施設等の活用が必須であり、こうした対象事業者等のプロジェクト形成及び資金需要等に対応するためには、日本政策投資銀行によるアドバイス機能及び低利融資等が活用できる当該支援措置は不可欠である。